

企画展

房総教育志

—明治を生きた先生たち—

開催期間

令和4年10月11日(火)～令和5年2月25日(土)

会場：千葉県文書館1階展示室

入場
無料

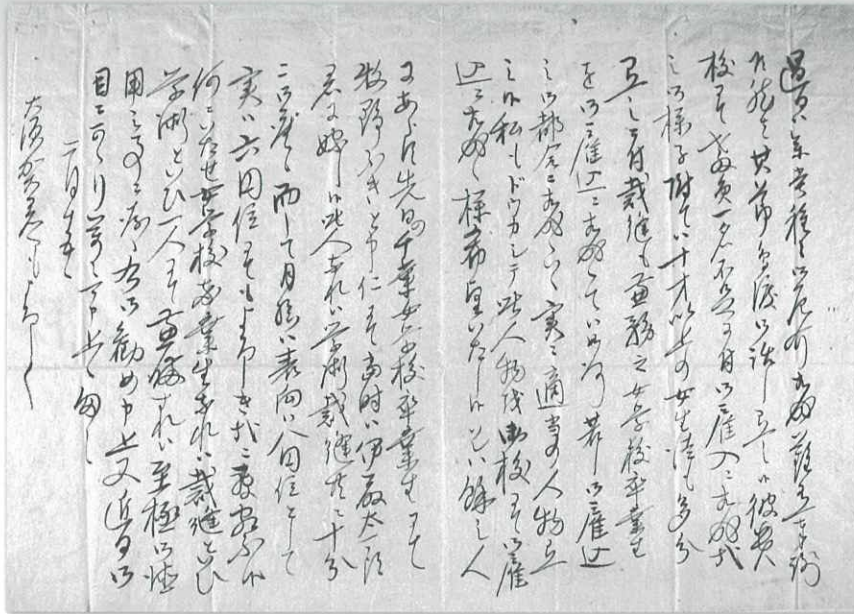
文書が現在を過去を未来を語ります

千葉県 文書館

TEL : 043-227-7552

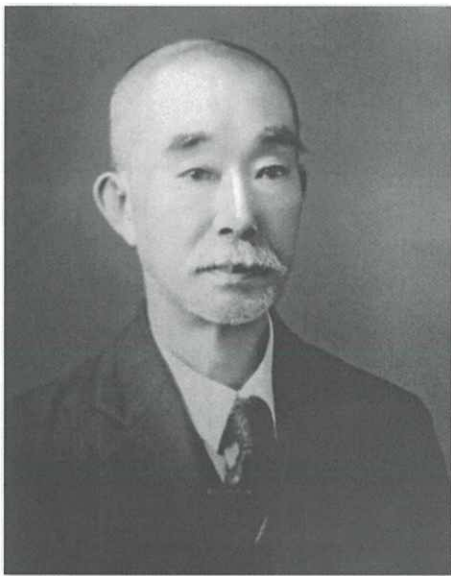
https://twitter.com/chiba_pref_bun





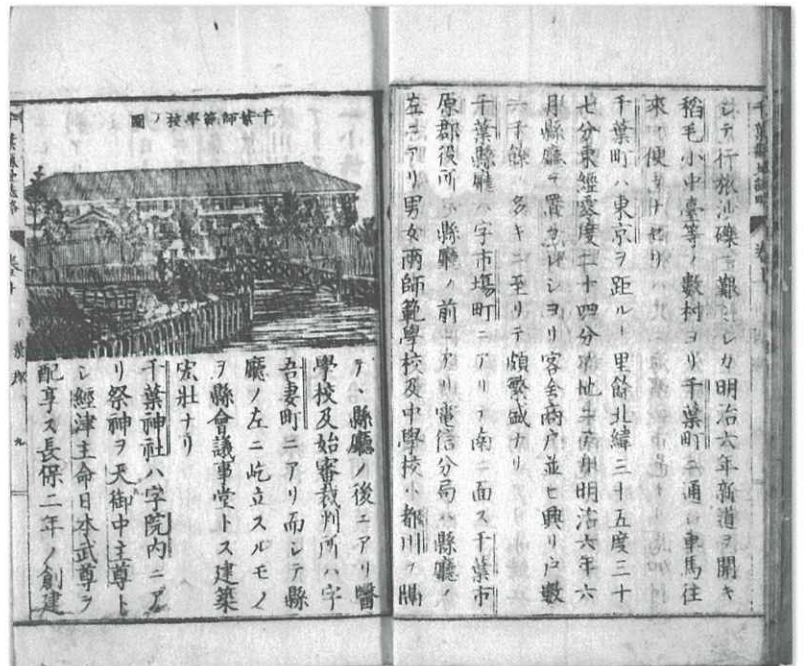
●〔教員採用の件に付書簡〕

千葉県総合教育センター文書（明治時代）
 当時千葉師範学校で教えていた小池民次が、馬加村浜田小学校（現在の千葉市立幕張小学校）教諭の石川倉次に宛てた書簡です。浜田小学校の教員の欠員に当たって、千葉女子師範学校（史料中は「千葉女学校」）の卒業生を推薦しています。



●小池民次（千葉県立東金高等学校提供）
 （明治時代）

千葉師範学校などで教壇に立った後、県立東金高等女学校の初代校長、県立千葉高等女学校校長を歴任しました。大正に入って私立一宮女学校を開校するなど、千葉県の女子教育に大きく貢献しました。



●『千葉県地誌略』（巻上）島田家文書（明治15年）

千葉師範学校が編さんし、明治15年（1882）に発行された教科書です。上下巻からなり、上総・下総・安房の各地を挿絵とともに紹介しています。

令和4年は、学制が公布されて150周年に当たります。明治5年（1872）、近代国家を目指してまい進する政府主導のもと、国民皆学の理念に基づいた近代教育の場として小学校などが誕生し、江戸時代とは全く異なる新しい教育が進められることになりました。その最前線で近代教育の発展を担ったのは、当時教壇に立った先生たちです。新たな教育内容と教授法、移り変わる制度に試行錯誤しながらも、その時代に生きた先生たちの痕跡を、当館収蔵資料を中心に紹介します。

【交通案内】

JR千葉駅徒歩10分／千葉都市モノレール県庁前駅徒歩3分／京成千葉中央駅徒歩10分／
 JR千葉駅徒歩20分／JR千葉駅からバス2、3、4番乗り場から県庁前下車徒歩3分